

住宅地などにおける農薬使用の注意

農薬は、適正に使用されない場合、人や動物など周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。学校、保育所、病院、公園などの公共施設や住宅地に近い農地など、多くの人などに健康被害を与える可能性のある場所で農薬を使用する場合には、農薬の飛散防止などに配慮してください。

注意事項
農薬使用の回数と量を減らすために病害虫や雑草の早期発見に努める。
やむを得ず農薬を使用する場合には、事前に散布日時・使用予定の農薬の種類などを周辺住民に周知する。
農薬はラベルに記載された内容を必ず守って使用する。
農薬を散布する場合は、無風または風が弱いときに行うなど天候に注意する。
近隣に学校・通学路がある場合は通学時間帯の使用は避けるなどの配慮をする。

環境経済課 ☎388-1114

農薬を知る。 理解する。 適正に使う。



～飛散防止編～

農薬は 周りに配慮し
正しく使用！

全国一斉情報伝達試験

地震や武力攻撃などの災害時に、国から送られてくる緊急情報を、全国瞬時警報システム(Jアラート)により皆さんにお伝えするための試験を行います。

この機会に災害発生時の行動を再確認するとともに、平常時の備えについて家庭内で話し合みましょう。

試験日時	8月28日(水)午前11時ごろ
放送内容	「これは、Jアラートのテストです。」と3回繰り返し放送が流れます。
伝達方法	各家庭の戸別受信機と屋外スピーカーから訓練放送が流れます。また、あんしんかさまつメールでも訓練情報が一斉に流れます。

総務課 ☎388-1111

「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展

松波総合病院で「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展を開催します。

遺伝性乳がん・卵巣がん当事者の家族などによる、医療・社会へのメッセージのほか、当事者自身の姿や手紙などの品が紹介されます。当事者の声を広く社会に伝えることにより、遺伝性がんへの理解を深めることや潜在的当事者へのエールを目的としています。

期間 7月29日(月)～8月30日(金)

場所 松波総合病院 北館南館連絡通路

主催 松波総合病院 がんセンター

協力 東海遺伝カウンセリング研究会、(一社)日本遺伝カウンセリング学会、特定非営利活動法人クラヴィスアルクス

松波総合病院認定遺伝カウンセラー 佐々木 ☎388-0111(代表)